

本格的な紫外線対策していますか

紫外線は1年中地球に届いていますが、その量が際立つくなるのが5~8月です。紫外線を浴びすぎると、日焼けだけでなく、さまざまな悪影響を受けてしまいます。しっかりと対策を行いましょう。

紫外線を浴びすぎないことが大切

紫外線は体内でビタミンDを作つて骨を丈夫にするなど、体に良い作用をもたらしますが、浴びすぎると悪影響を及ぼします。

シワやシミ、たるみの原因になったり、皮膚がんの発症リスクを高めたりします。また、白内障や翼状片*など、目の病気を引き起こすこともあります。

紫外線を極端に避ける必要はありませんが、浴びすぎは望ましくありません。紫外線の健康への害を抑えるには、とにかく浴びすぎないことが大きなポイントです。

*白目の細胞が異常に増えて血管とともに黒目のはうに伸びてくる病気

身につけるものや日焼け止めなどで紫外線をカット

紫外線は8月にかけてどんどん増えています。これからの時期は晴れの日はもちろん、曇りや雨の日も紫外線対策が必要です。また、直射光だけでなく、空気中で飛び散る散乱光や反射光もあるので、日陰だからといって安心してはいけません。紫外線はあらゆる角度から肌に届いていると考え、以下のような方法でしっかり防ぎましょう。

- ①紫外線の量が多くなる午前10時~午後2時ごろはできるだけ外出を控えます。
- ②外出時には、つばのある帽子や日傘、UVカットのメガネなどを使用。目の詰まった生地やUV加工が施された衣服を着用する。
- ③衣服では防ぎきれない部分は日焼け止めをしっかり塗る。顔に塗る場合は、クリーム状ならパール1個分、液状なら一円玉1個分を額、鼻、両頬、頸に置き、隅々に広げていく。塗り終わったらもう一度同量を重ね塗りする。こまめに塗り直すことも忘れずに。

クスリンです。



ご意見をお寄せください

読者アンケート

回答方法 ハガキ、QRコード（またはURLからアクセス）いずれかの方法でお一人さま1回限りとさせていただきます。

ハガキ

- ① Lifeを受け取った薬局の名称と所在地（例：●●薬局 ●●店 ●●市）
- ② あなたは、現在、減塩に気をつけていますか？（気をつけている／気をつけていない）
- ③ 今後、減塩について気をつけようと思いませんか？（思う／思わない）
- ④ 「思う」と答えた方は、具体的にどんな減塩の工夫をしたいですか？
- ⑤ 薬局へのご意見・ご要望
- ⑥ Lifeへのご意見・ご要望
- ⑦ 郵便番号・住所 ⑧ 氏名 ⑨ 性別 ⑩ 年齢
- ⑪ 電話番号 ⑫ 欲しい色のアルファベット

※記入漏れや間違があるとプレゼントをお送りできない場合があります。

QRコード QRコードを読み取るか、<https://form.run/@life202405>にアクセスしてご回答ください。ご利用端末が対応していない場合はハガキでご回答ください。

○上記以外の方法でのご応募は受け付けておりません。

○あて先（切ってハガキに貼ることができます）

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前5-47-11

クラスAネットワーク Life5月号係

プレゼント

50名様

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で50名様に下記の商品をプレゼントいたします。
ご希望の色（AまたはB）を明記してください。



水遊びやアウトドアで大活躍の防水バッグ

A. ブラック

B. クリア

サイズ：
H150mm×W265mm

スリムでシックなデザインが特徴の、止水フッ素樹脂を使用した防水バッグです。水遊びの際やアウトドアで、貴重品や小物を持ち運ぶことができます。Bのクリアタイプはスマホ操作も可能。

防水クロスバック ブラック、クリア
3,980円（税込）ロア・インターナショナル
<https://www.araree.jp/contact/>

○商品については、上記URLよりお問い合わせください。

※プレゼントの当選発表は発送をもってかえさせていただきます。ご回答いただいた方の個人情報は（株）クラスAネットワークにて厳密に管理し、プレゼント以外の目的で使用することはありません。お寄せいただいたご意見・ご要望等は、今後の紙面作り（Webサイトを含む）及び薬局サービス向上に活用させていただきます。

※商品については、上記URLよりお問い合わせください。

薬が原因で、光が当たった皮膚に異常反応が起こることが

塗り薬や貼り薬などを用いた部位に日光が当たってかぶれたり、薬を飲んだあとに日光が当たった皮膚に発疹ができたりする場合は、薬剤が原因の光線過敏症が疑われます。皮膚に異常があるときは、早めにかかりつけ医や皮膚科を受診しましょう。

薬剤性光線過敏症の治療としては、原因と思われる薬剤の使用を中止し、日光を避けることが重要です。症状によっては抗ヒスタミン剤や副腎皮質ホルモン剤（ステロイド剤）などで治療します。また、薬の使用をやめた後でも成分が体に残っていることがあるので、しばらくの間は注意が必要です。

なお、紫外線対策についてわからないことがある場合は、薬局の薬剤師に気軽におたずねください。



イラストレーション：堺直子

お知らせ

健康情報をWebでも

Lifeの姉妹サイト「class Aヘルシーライフクラブ」では、Lifeのバックナンバーをはじめ、旬の健康情報を配信しています。ぜひご覧ください。

 Healthy Life Club
<https://www.healthylifeclub.net/>

次号予告 6月号は「口の健康」を特集します。どうぞお楽しみに。

元気応援薬局 class A

薬剤師にご相談ください
お薬から健康生活までトータルで応援します。

処方薬のご用がなくともお気軽におこしください。

特集 义勝 おいしい！減塩術

■本格的な紫外線対策していますか…4

防水バッグを50名様にプレゼント…4

やってみよう！あなたの塩分チェックシート

当てはまるものに○をつけ、最後に合計点を計算してください。

これらの中の食品を食べる頻度	3点	2点	1点	0点
みそ汁、スープなど	1日2杯以上	1日1杯くらい	2~3回/週	あまり食べない
つけ物、梅干しなど	1日2回以上	1日1回くらい	2~3回/週	あまり食べない
ちくわ、かまぼこの練り製品		よく食べる	2~3回/週	あまり食べない
あじの開き、みりん干し、塩鮭など		よく食べる	2~3回/週	あまり食べない
ハムやソーセージ		よく食べる	2~3回/週	あまり食べない
うどん、ラーメンなどの麺類	ほぼ毎日	2~3回/週	1回/週以下	食べない
せんべい、おかき、ポテチップスなど		よく食べる	2~3回/週	あまり食べない
しょうゆやソースなどをかける頻度は？	よくかける（ほぼ毎日）	毎日1回はかける	時々かける	ほとんどかけない
うどん、ラーメンなどの汁を飲みますか？	全て飲む	半分くらい飲む	少し飲む	ほとんど飲まない
昼食で外食やコンビニ弁当などを利用しますか？	ほぼ毎日	3回/週くらい	1回/週くらい	利用しない
夕食で外食やお惣菜などを利用しますか？	ほぼ毎日	3回/週くらい	1回/週くらい	利用しない
家庭の味付けは外食と比べていかがですか？	濃い	同じ		薄い
食事の量は多いと思いますか？	人よりも多め		普通	人よりも少なめ
○をつけた個数	3点×個	2点×個	1点×個	0点×個
小計			点	点
合計点			点	点

評価

[合計点 0~8点]

食塩はあまりとっていないと考えられます。引き続き減塩をしましょう。

[合計点 9~13点]

食塩摂取量は平均的と考えられます。減塩に向けてもう少し頑張りましょう。

[合計点 14~19点]

食塩摂取量は多めと考えられます。食生活のなかで減塩の工夫が必要です。

[合計点 20点以上]

食塩摂取量はかなり多いと考えられます。基本的な食生活の見直しが必要です。

一日にどれだけ塩分をとっていますか？

減塩の重要性が叫ばれて久しいですが、成人の1日の食塩摂取量は男性10.9g、女性9.3g*と、国の食事摂取基準の目標値である男性7.5g未満、女性6.5g未満**よりも約3g多いのが現状です。あなたはどのくらいとっていますか？

*厚生労働省「令和元年国民健康・栄養調査」 **高血圧の人は男女とも6.0g未満が目標値「高血圧治療ガイドライン」

● 塩分をとりすぎると… 塩分は生命維持のために必要なものですですが、過剰摂取は健康に悪影響を及ぼします。

高血圧 塩分をとりすぎると血液中の塩分濃度が高くなります。すると塩分濃度を薄めようと体内の水分量が増え、血液の量も増加。心拍出量も増えて、血圧が高くなります。

胃がん 胃酸の影響から胃を守るために、胃壁は粘液を分泌する粘膜細胞で保護されています。塩分を過剰にとると、この粘膜細胞が破壊されたり、粘液の性状が変化して胃がんができるやすくなります。

腎臓病 腎臓は血液から老廃物や余分な塩分を除去しています。腎臓の血管に動脈硬化が起こると血液がろ過されにくくなるため、腎臓は無理をして働くことになり、やがて疲弊して、機能が低下します。

その他 塩分の過剰摂取は、骨の材料であるカルシウムの尿中への排泄を促し、骨粗しょう症のリスクを高めます。また、神経細胞の機能を妨げて認知機能を低下させる可能性も指摘されています。



評価
[合計点 0~8点]
食塩はあまりとっていないと考えられます。引き続き減塩をしましょう。

評価
[合計点 9~13点]
食塩摂取量は平均的と考えられます。減塩に向けてもう少し頑張りましょう。

評価
[合計点 14~19点]
食塩摂取量は多めと考えられます。食生活のなかで減塩の工夫が必要です。

評価
[合計点 20点以上]
食塩摂取量はかなり多いと考えられます。基本的な食生活の見直しが必要です。

監修：
社会医療法人
製鉄記念八幡病院
理事長 土橋卓也
管理栄養士 山崎香織

イラストレーション：しおたまこ

